

対象国の条件: 仏語圏アフリカ地域

研修コース番号: 201984904-J002

案件番号: 201984904

主分野課題: 教育/初等教育

副分野課題:

使用言語: 仏語

**案件概要**

子どもが、基礎的な学力と自ら学び考える力を身につけられるよう、①カリキュラム、②教科書・学習教材、③授業、④学力診断の一貫性を持たせ、「学びのサイクル」を強化するための施策・制度、及び学校現場における具体的な取り組みについて学ぶ。具体的には、系統性・継続性のあるカリキュラム、カリキュラムと整合性のある教科書、教師用指導書、これらと一貫性のある学力試験問題の開発及びそのフィードバック方法等について学ぶもの。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**  
 教育の質改善のために、意図されたカリキュラム(シラバス)、実施されたカリキュラム(授業)、達成されたカリキュラム(アセスメント)の三層カリキュラムに一貫性を持たせることが重要であることを理解し、自国に於いて三層カリキュラムの一貫性を強化するための取り組みを提言できるようになる。

**【成果】**  
 成果1: 三層カリキュラムの一貫性における意図されたカリキュラム(シラバス)について理解し、自国における現状と課題が整理される。  
 成果2: 三層カリキュラムの一貫性における実施されたカリキュラム(授業)について理解し、自国における現状と課題が整理される。  
 成果3: 三層カリキュラムの一貫性における達成されたカリキュラム(アセスメント)について理解し、自国における現状と課題が整理される。  
 成果4: 継続的な教育の質改善のためのカリキュラムマネジメントサイクルについて日本の経験から学び、自国における現状と課題が整理される。

**【対象組織】**  
 教育省、カリキュラム開発局、教科書開発局、試験機構等

**【対象人材】**  
 カリキュラム、教材、評価を担当する部局から、各国の参加を促す。

**内容**

- ・インセプションレポートの発表(発表・協議)、課題分析(WS)
- ・日本の教育制度(講義・協議)
- ・日本のカリキュラム、教科書、評価に係る開発・改訂の仕組み(講義・協議)
- ・日本のカリキュラム、教科書、評価に係る関係機関の役割(講義・協議)
- ・学校(視察)
- ・他国から参加者との意見交換協議(作業、発表)、政策提言の作成(発表)

※本研修ではKCCP「知識共創(Knowledge Co-creation)」を促進するため、アクティブラーニングを取り入れています。

<b>本邦研修期間</b>	2019/9～2019/9
<b>担当課題部</b>	人間開発部
<b>所管国内機関</b>	JICA東京(人間計画)
<b>関係省庁</b>	
<b>実施年度</b>	2017～2019

**主要協力機関**  
 アイ・シー・ネット株式会社

**特記事項  
 及び  
 ホームページ**